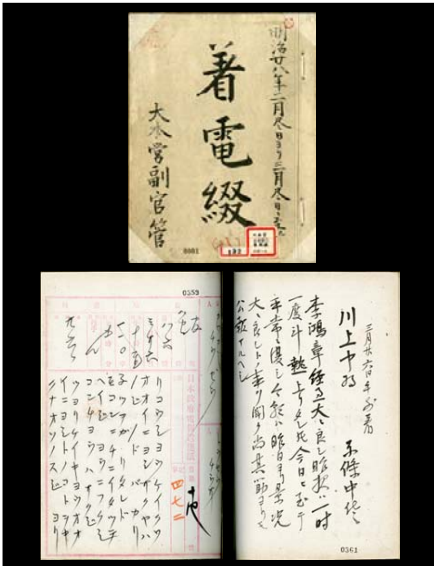


平成 24 年度は、歴代陸軍参謀総長及び海軍軍令部長の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物の関連史料を紹介しています。

かわかみ そろく  
《 川上 操六 1848～1899年 》

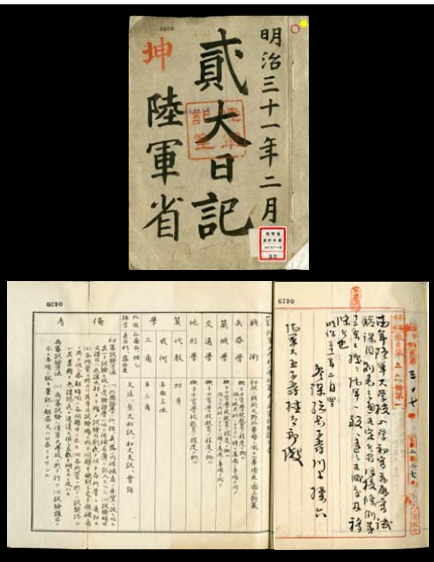
一 大本営陸軍上席参謀兼兵站総監として日清戦争に貢献した将軍一



28.3.26 李鴻章經過大いに良し

(登録番号：大日記一大本営一日清戦役電報綴-M28-6-132)

川上操六大将は、明治 4 年 7 月、陸軍中尉に任官、その後、参謀本部次長、近衛歩兵第 2 旅団長、参謀総長等の要職を歴任しました。この史料は、日清戦争当時、大本営陸軍上席参謀兼兵站総監であった同大将（当時中将）に大本営陸軍参謀の東條英教中佐（後の中将、東條英機大将の父）が送った明治 28 年 3 月 26 日付の電報です。「李鴻章經過大ニ良シ昨夜ハ一時一度計熱上リタレトモ今日ニ至テ平常ニ復シ今朝ハ昨日ヨリ景況大ニ良シ・・・」とあります。当時、清国全権の李鴻章は講和交渉のため来日中でしたが、同 24 日、暴漢に狙撃され宿舎で治療を受けていました。電報は同全権の容体を詳細に報告しています。



陸軍大学校試験課目制定の件

(登録番号：陸軍省一貳大日記-M31-14-32)

この史料は、明治 31 年 2 月、参謀総長であった川上大将（当時中将）が桂太郎陸軍大臣に移牒（通知）した陸軍大学校入学試験課目です。同 4 日付で「本年陸軍大学校入学初審并再審試験課目別表之通相定・・・」として、戦術、兵器学、築城学、交通学、地形学、算学、外国語学等の試験課目表が添付されています。陸軍大学校は、参謀本部条例により参謀総長の統轄下に置かれており、当時、入学試験課目は参謀総長の移牒により毎年 2 月に陸軍大臣が告示することになっていました。試験は初審（1 次試験）については各所管毎に、再審（2 次試験）については陸軍大学校に於いて実施されました。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「お知らせ」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断引用はお断りします。  
防衛研究所企画部企画調整課  
専用線：8-67-6522、6588（史料紹介コーナーのみ6668）  
外線：03-3713-5912  
FAX：03-3713-6149 E-mail：nidsnews@nids.go.jp  
※ 防衛研究所ウェブサイト：http://www.nids.go.jp